

段級



曲線の多い手本です
穂先のバネをきかせてリズムよく書きましたよう



卓然たくぜんとして高枝こうしを見る
衆木は霜にあつてその葉凋落せるも
青松はひとり卓立たくりしている。
(陶潜の詩)

王羲之(書聖と呼ばれている)
「蘭亭序」「集字聖教序」
「興福寺断碑」から字を集めて
倣書(背臨)で書いています。